

ENERGY STAR® 第 2 草案のデータに関する注記

第 2 草案における基準値は、これまで収集されてきた製造事業者が提供したデータに基づく基準値案である。EPA は、基準書およびデータに関する関係者意見を期待し、またこれらの基準値を改善および確定するための 9 月 26 日関係者会議と意見提出期間における今後の協議を期待する。業界メンバーにより提出されたデータの匿名性を保護するため、製造事業者名は隠されており、モデル番号は削除されていることに留意してほしい。

デスクトップおよびノートブック：

添付のデスクトップに関するデータ（ワークシートの「DT-Analysis」および「NB-Analysis」）を参照してほしい。いくつかの限られた事例（提出されたコンピュータ 480 モデルのうちの 19 モデル）に関して、関係者は、第 2 草案における範囲と基準値の設定において検討することができない、構成に関する情報が不完全なデータを提出した。

個別のグラフィックスカードにおけるフレームバッファ幅が、コンピュータのエネルギー消費に対するこれら構成要素の影響の評価に非常に適している可能性があるという関係者の意見を、EPA は第 2 草案の作成時に受け取った。この提案は EPA によるデータ要求の後に受け取られているため、EPA は、関係者から収集したデータを適切に補完するために、グラフィックスカードの製造事業者と協力し、「ビデオカードの型式およびモデル名/番号」欄に情報が記載されているシステムに関して、フレームバッファ幅の情報を集約した。また、グラフィックスカードの製造事業者は、各社が市場に提供している一般的なモデルのリストを提供した。その次に EPA は、提出されたデータとこれらのリストを相互参照し、「FB 幅」欄に該当する組み合わせを入力した。

第 3 草案の公表前に、EPA は、上記の対応をデータ全体に一律に適用することを促進すると考えられる、追加グラフィックスメモリに関してデータ提出した関係者と連絡する可能性を検討する予定である。

シンクライアント：

添付のデスクトップに関するデータ（ワークシートの「Thin Client」）を参照してほしい。このデータは、2008 年 8 月 29 日に関係者に向けてメール配信されたものから変更されていない。このデータには、関係者が提出したデータと公的に入手可能な製品データの両方が含まれている。また製造事業者名に加えて、オペレーティングシステム名もその商標権を考慮し、保護されている。

関係者は、コンピュータ基準バージョン 5.0 第 2 草案および本データに関するすべての意見を、2008 年 9 月 26 日までに、EPA の Katharine Kaplan (kaplan.katharine@epa.gov) および ICF International の Evan Haines (ehaines@icfi.com) に提出するように求められる。